

# 公開シンポジウム 社会的包摂ビジョン：孤独・孤立を越える

## 開催趣旨：

2022年4月に「孤独・孤立と『つながり』の再生」と題するシンポジウムを開催し、多くの方々にご参加いただきました。今回は、昨年のシンポジウム以降の孤独・孤立政策の動向と、市民セクターおよび自治体の取り組みに関する報告をふまえ、個人の選択や自由、権利、既存の制度・社会・文化的枠組みの視点から議論を深め、現代における社会的包摂のビジョンを描きます。

**日時：**2023年8月5日（土） 13：00～16：00

**主催：**日本学術会議 社会学委員会 経済学委員会 合同・包摂的社会政策に関する多角的検討分科会

**後援：**社会政策学会 日本社会福祉学会 福祉社会学会 日本社会福祉系学会連合 日本居住福祉学会  
日本労働社会学会 女性労働問題研究会 労務理論学会 日本地域福祉学会 ジェンダー法学会  
社会政策関連学会協議会

**お問い合わせ：**須田木綿子 yukosuda(a)toyo.jp・・・(a)を@に書き換えてお送りください。

参加申込

無料&どなたでもご参加いただけます。定員800名。下記URLからお申込みください（7月31日締切）。当日までにURLをお送りします。お申込みいただいた方には、後日、期間限定で録画も配信します。

<https://forms.gle/58RCGgwpVNzdjyi26>

## プログラム：

13：00～13：05 挨拶と趣旨説明（和気純子：日本学術会議会員・東京都立大学教授）

総合司会：岩崎晋也（日本学術会議連携会員・法政大学教授）

### 第1部：アクターと連携

13:05～13:25 国レベルの取り組み：孤独・孤立対策の有識者会議から  
（宮本太郎：日本学術会議連携会員（特任）・中央大学教授）

13:25～13:45 ボランタリーセクターの取り組み：「市民セクターが社会的孤立に取り組むための8つの『提案』」（早瀬昇：大阪ボランティア協会理事長）

13:45～14:05 自治体の取り組み：東京都武蔵野市から（松下玲子武蔵野市長）

14:05～14:15 内容確認のための質疑

### 第2部：包摂へのビジョン

14:25～14:45 包摂される権利：犯罪をしたものの視点から  
（丸谷浩介：日本学術会議連携会員・九州大学教授）

14:45～15:05 包摂されずにつながる：就職氷河期世代の経験から  
（木本喜美子：日本学術会議連携会員・一橋大学名誉教授）

15:05～15:25 「昭和」の仕組みを超えて：社会的包摂の再構築  
（大沢真理：日本学術会議連携会員・東京大学名誉教授）

15:25～16:00 フロアからの質疑と登壇者を交えての議論

16:00 閉会挨拶（須田木綿子：日本学術会議連携会員・東洋大学教授）